

ボランティア・ニュース 第1号

ボランティア・ニュース創刊？

北海道大学総合博物館では、学生や一般市民からなる「ボランティアの会」が組織され、標本整理などの活動を行っています。「ボランティア・ニュース」では、みなさんにボランティアの会の活動をご紹介します。

ボランティアの会とは？

北海道大学総合博物館で活動しているのは教官だけではありません。学生や一般市民もボランティアとして参加し、標本整理や展示解説などを行っています。このボランティア活動員の集まりが「ボランティアの会」です。

活動は扱う標本の種類や作業内容などによって、以下のグループに分かれて行われています。中には複数のグループを兼業している方々もいます。

- ・植物標本Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ
- ・昆虫標本
- ・地学標本（岩石・鉱物）
- ・化石標本
- ・考古標本
- ・展示解説
- ・翻訳

ボランティアの会では他分野についての知識も深めるべく、勉強会を行っています。今年度はこれまでに、昆虫学、毒性学、ナノテクノロジーに関しての勉強会を行ってきました。2002年度には「博物館クイズ」のリーフレットを発行するとともに（1階受付で配布しています）、来館者の方々へ展示に関するアンケートをとり教授会に報告しています。

このような活動を通じ、単に博物館活動に貢献するだけでなく、自分の知識や技能を向上できるのも博物館ボランティアの楽しみです。

望月直（展示解説）

ボランティア・ニュースができた！

北大博物館には数十名のボランティアがいます。しかし、なかなかお互いの活動を知る機会がないのだというのです。それもそうでしょう。同じ部局にいる教員ですら、仲間がどんな研究をしているのかほとんど知りません。いつも会議等で顔を合わせる先生も、お互いの研究内容を知らないのです。

数年前、ソウル大学との交流で韓国に行きました。ジョイントシンポジウムに参加し、いつも会議でやり合っている先生の研究発表を聞きました。内容はコウロギの聴覚器官に関するとても面白い研究でした。韓国に行ってはじめて彼の研究を知ったのでした。

ボランティアニュースが、ボランティア相互の理解と情報の交換の場になればより張り合いが出るでしょう。また博物館教職員とボランティアの相互理解も情報の共有も重要です。このニュースのおかげで自分の周りしか見えなかった博物館に明かりがさして、全体像が浮かび上がってくると思いますね。回を重ねるうちにきっとそうなると思う。またボランティア活動の貴重な記録にもなります。ぜひ続けて頂きたいと思います。

藤田正一（館長）



ボランティア・ニュースへの期待

2005年に入り、予てから噂の声が出ていたボランティアニュースが、やっと産声を上げました。ボランティアの会は学生や一般市民から構成され、9つの部門に分かれて活動しています。個々のグループでの活動はありましたが、グループ同士の横の連絡がないままに過ごしていた感があります。年一回の「ボランティアの会総

会」でもそれなりの成果はありましたが、後に続くものが欲しかった気がします。

このニュースの発行で、それぞれのグループの声が届く助けになればと期待しています。焦らずにじっくりと、このニュースが続くようにご協力ください。みんなで記事を作っていきましょう。

沼田勇美（展示解説）

明るい教室と机、そして本棚

3年前、植物体系学講座に研究生として所属することになり、博物館ボランティアの活動にも参加してきました。私は高等学校で長く理科教育に携わってきたので、ここの展示は高校生にとっては少し難解かと思っていました。高校教員側からの、高校生が博物館を訪れた時に受け取れる解説書がほしいという要望にも応えて、2002年には「博物館クイズ」を発行してきました。

2001年度のボランティア初会合の折には、展示解説をしていた学生さんの荷物を置く場所もないと判り、私の机の上に荷物をお預かりしたこともありました。今では、

3階N302にボランティア控室が開設され、明るい教室に机、本棚、白板、それに冷蔵庫までそろって、3年前の展示解説員の話は遠い過去のものになろうとしています。

星野フサ（事務局）



ボランティア募集

ボランティア活動員募集の詳細は次号以降お伝えします。

編集後記

◆まずはボランティア・ニュース創刊号をお手にとって頂きありがとうございます。不慣れな仕事ではありますが、千里の道も一歩から、三歩進んで二歩下がらないように。【望月】

◆私は、遠友学舎クラーク講座で3年間学んでいました。ボランティアの会に入ってまだ日は浅いです。今回、本ニュースの編集に携わることになりました。よろしく。

【沼田】

◆初めてのボランティア・ニュースなので緊張しました。このニュースを通じて一人々の小さな取り組みが大きく花開くことを祈っています。【星野】

次号予告

ボランティア・ニュースは隔月発行を予定しています。次号からは、ボランティアの会の各グループを順にご紹介します。初回は「植物ボランティア」。また、来館者の方々から寄せられた、展示に関するご質問にも紙上でお答えします。

ボランティア・ニュース

◆編集・発行：

北海道大学総合博物館ボランティアの会

◆発行日：2005年2月

◆発行所：

博物館 ボランティア控室（N302号室）

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目